

令和 3 年度事業報告

(自令和 3 年 4 月 1 日 至令和 4 年 3 月 31 日)

甲、庶務に関する事項

1. 総会

(1) 第 71 回通常総会

令和 3 年 6 月 25 日に書面により開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- 第 1 号報告 令和 2 年度事業報告の件
- 第 2 号報告 公益目的支出計画実施報告の件
- 第 3 号報告 令和 3 年度事業計画の件
- 第 4 号報告 令和 3 年度収支予算の件

II 提出議案

- 第 1 号議案 令和 2 年度収支決算報告承認の件
- 第 2 号議案 令和 3 年度会費徴収方法承認の件
- 第 3 号議案 令和 3 年度役員報酬承認の件
- 第 4 号議案 付帯決議の件

(2) 臨時総会

令和 3 年 4 月 9 日に書面により開催し、次の事項を議決した。

I 提出議案

- 第 1 号議案 監事の補欠選任の件

2. 理事会

(1) 第 306 回理事会

令和 3 年 6 月 4 日にウェブにより開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 3 年度臨時総会の報告
- (2) 社員選挙当選者の公示
- (3) 令和 3 年度乳用牛生産性長命連産性の遺伝改良研究事業の概要
- (4) 第 16 回全共企画委員会の概要

II 協議事項

- (1) 令和 2 年度事業報告
- (2) 令和 2 年度収支決算報告

- (3) 第 71 回通常総会の招集及び付議事項
- (4) フリーマーチン検査料の引下げ
- (5) 育児・介護休業等規則の制定と職員就業規則の改正
- (6) 今後の行事日程

(2) 第 307 回理事会

令和 3 年 6 月 25 日に書面により開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 2 年度登録委員並びに支部・承認団体の表彰
- (2) 令和 2 年度審査成績並びに検定成績優秀牛群等の表彰

II 協議事項

- (1) 第 71 回通常総会付議事項

(3) 第 308 回理事会

令和 3 年 11 月 19 日にウェブにより開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 3 年度中間事業概況
- (2) 令和 3 年度中間決算報告
- (3) 令和 3 年度中間監査報告
- (4) 社員補欠選挙当選者の報告
- (5) 令和 3 年度登録委員研修会並びに登録事務担当者会議の概要
- (6) 令和 3 年度国等補助事業の実施状況
- (7) 世界ホルスタインフリージアン連盟関係
- (8) 乳用牛改良推進協議会関係

II 協議事項

- (1) 任期満了に伴う役員改選
- (2) 遺伝子型調査取扱要項の改正
- (3) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会関係
- (4) 今後の行事日程

(4) 第 309 回理事会

令和 3 年 12 月 27 日に書面により開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 理事の欠員
- (2) 役員退任に伴う役員報酬、退任慰労金の支出

(5) 第 310 回理事会

令和 4 年 3 月 18 日にウェブにより開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和 3 年度中間事業概況
- (2) 令和 3 年度社員会議・冬期登録事務担当国会議の報告
- (3) 令和 3 年度国等の補助事業実施状況
- (4) 任期満了に伴う役員改選の実施

II 協議事項

- (1) 令和 4 年度事業計画
- (2) 令和 4 年度収支予算
- (3) 役員報酬の支出
- (4) 自動登録同時 S N P 検査の運用方法変更
- (5) 遺伝子型調査取扱要項等の改正
- (6) 授精証明書等の様式変更
- (7) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会関係
- (8) 今後の行事日程

3. 監査会

令和 3 年 5 月 21 日に令和 2 年度決算監査会を、10 月 22 日には令和 3 年度中間監査会をそれぞれウェブにより開催し、会計監査並びに業務監査を実施した。

4. 社員選挙

任期満了に伴う社員選挙を令和 3 年 5 月 20 日に実施した。各選挙区で候補者が社員定数を超えなかったため、社員選挙規則第 18 条に基づき、無投票で候補者 58 名の当選が確定した。翌日開催の選挙管理委員会に報告し、社員当選者への通知と当協会ウェブサイト上で公示を行った。

また、社員の辞任に伴い、10 月 22 日に山形県、福島県、岡山県で社員補欠選挙を実施し、無投票により候補者が確定した。選挙管理委員会に報告し、社員当選者への通知と公示を行った。

5. 社員会議

年度末に東西ブロックで開催している社員会議は、コロナ禍に対する感染予防の点から、前年度に引き続き、令和 4 年 2 月 10 日に書面をもって報告し、了承を得た。

6. 会 員

令和4年3月末日現在の会員数は次のとおり。

(1) 会 員

	本 局	支 局	合 計
会費申込件数	4,516 名	5,662 名	10,178 名
(前年度実績比)	(93.9%)	(96.4%)	(95.3%)

(2) 賛助会員

	本 局	支 局	合 計
(団体)			
会員数(口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
払込件数(口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
(個人)			
会員数	26 名	0	26 名
払込件数	26 名	0	26 名

7. 職 員

令和4年3月末日現在の職員数は次のとおり。

職 名	本 局				支 局				合 計
	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	平成4 年3月 末現在	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和4 年3月 末現在	
事務局長									0
支 局 長					1			1	1
技 師	10		1	9	19	3	2	20	29
主 事	6	4	1	9					9
参与・嘱託	0	1		1					1
事務取扱	2	1	2	1	24		3	21	22
合 計	18	6	4	20	44	3	5	42	62

8. 登録委員

種 別	任命 委嘱	解職 解嘱	令和4年 3月末現在	備 考
総務委員	1	2	2 名	
審査委員	1	5	18 名	
検定委員	161	173	1,631 名	
計	163 名	180 名	1,651 名	

9. 支部の設置

令和4年3月末日現在の支部設置状況は次のとおり。

岩手県支部（S58.8.11）、秋田県支部（S35.4.1）

山形県支部（S34.7.1）、京都府支部（S42.4.1）、

（附）支部・承認団体一覧

区分		都道府県
支部	4	岩手、秋田、山形、京都
承認団体	43	
ホルスタイン協会	(3)	宮城、静岡、奈良
酪農協連、酪農農協連	(8)	茨城、千葉、神奈川、新潟、三重、愛媛、長崎、熊本
経済農協連	(1)	宮崎
全農	(2)	青森、長野
農協	(4)	北海道、島根、香川、佐賀
酪農協、酪農農協	(13)	福島、栃木、東京、石川、愛知、兵庫、鳥取、岡山、広島、徳島、福岡、大分、鹿児島
畜産農協	(1)	大阪
家畜改良協会	(3)	山梨、和歌山、沖縄
畜産会	(2)	埼玉、高知
畜産協会	(3)	群馬、福井、岐阜
畜産振興協会	(3)	富山、滋賀、山口
合計	47	

乙、業務に関する事項

1. 血統登録、証明申込

(1) 主な登録申込頭・件数

令和3年度の主な申込頭数・件数は次のとおり。

1) 血統登録

種別	本局		支局		合計	
申込頭数(雌)	45,217	頭	182,850	頭	228,067	頭
〃(雄)	169	頭	310	頭	479	頭
計	45,386	頭	183,160	頭	228,546	頭
(前年度実績比)	101.6	%	106.0	%	105.1	%
予算	44,650	頭	173,000	頭	217,650	頭
(予算比)	101.6	%	105.9	%	105.0	%

登録頭数（雌）	45,878	頭	182,600	頭	228,478	頭
”（雄）	167	頭	310	頭	477	頭
計	46,045	頭	182,910	頭	228,955	頭

2) 移動証明

種別	本局		支局		合計	
申込件数	3,178	件	1,472	件	4,650	件
（前年度実績比）	93.4	%	83.7	%	90.1	%
予算	2,680	件	1,900	件	4,580	件
（予算比）	118.6	%	77.5	%	101.5	%
証明件数	3,248	件	1,471	件	4719	件

3) 審査成績証明

種別	本局		支局		合計	
牛群審査（雌）	8,580	頭	13,205	頭	21,785	頭
”（戸数）	684	戸	1,024	戸	1,708	戸
個体審査（雌）	414	頭	488	頭	902	頭
”（雄）	6	頭	8	頭	14	頭
計	9,000	頭	13,701	頭	22,701	頭
（前年度実績比）	149.6	%	97.5	%	113.1	%
予算	9,020	頭	15,310	頭	24,330	頭
（予算比）	99.8	%	89.5	%	93.3	%
証明頭数						
牛群審査（雌）、 体型調査	17,673	頭	27,478	頭	45,151	頭
個体審査（雌）	405	頭	488	頭	893	頭
”（雄）	6	頭	8	頭	14	頭
計	18,084	頭	27,974	頭	46,058	頭

4) 検定成績証明

種別	本局		支局		合計	
牛群一括検定	4,056	件	71,372	件	75,428	件
”（戸数）	99	戸	754	戸	853	戸
個体検定	130	件	134	件	264	件
計	4,186	件	71,506	件	75,692	件
（前年度実績比）	99.8	%	102.4	%	102.2	%
予算	3,900	件	67,610	件	71,510	件
（予算比）	107.3	%	105.8	%	105.8	%
証明件数	4,174	件	70,003	件	74,177	件

5) 再交付・更正・書換申込、E T事務取扱件数

種 別	本 局	支 局	合 計
再交付	188 件	1,283 件	1,471 件
更正・書換	168 件	236 件	404 件
E T事務取扱	1,501 件	2,452 件	3,953 件

6) 血統能力証明

種 別	本 局	支 局	合 計
証明件数	345 件	4,587 件	4,932 件

7) 遺伝子型証明

申込件数

種 別	本 局	支 局	合 計
雄牛の遺伝子型判定	232 件	300 件	532 件
E T生産牛の親子判定	1,407 件	2,234 件	3,641 件
父母牛の判定	713 件	2,242 件	2,955 件
卵性の判定	1 件	0 件	1 件
フリーマーチンの判定	185 件	291 件	476 件
採血を伴わない判定	83 件	220 件	303 件
C V M判定	2 件	4 件	6 件
B L A D判定	0 件	4 件	4 件
遺伝子型同一性の検査	0 件	100 件	100 件
BLAD CVMの同時判定	0 件	0 件	0 件
R E D因子検査	11 件	14 件	25 件
単蹄因子検査	0 件	0 件	0 件
ブラキスパイナ検査	190 件	316 件	506 件
C Dの判定	191 件	317 件	508 件
H H 1 検査	1 件	1 件	2 件
BLAD CVM 単蹄の同時判定	188 件	312 件	500 件
X T S N P検査	1,440 件	3,236 件	4,676 件
胚致死性遺伝子7種類	88	66 件	154 件
計	4,732 件	9,657 件	14,389 件

8) 選 奨 (生涯検定牛)

種 別	本 局	支 局	合 計
金	92 頭	1,522 頭	1,614 頭
銀	141 頭	1,635 頭	1,776 頭

銅	449	頭	8,044	頭	8,493	頭
計	682	頭	11,201	頭	11,883	頭

2. 登録、育種改良のための情報収集、調査研究及び情報提供

(1) 登録、育種改良のための情報提供

- 1) 蓄積された血統登録データは、本会ホームページで血統検索や近交回避情報として公開したほか、体型審査受検農家に直近の牛群遺伝改良情報や近交回避情報等を還元した。
- 2) スマートフォンで検索できる「近交情報システムWeb」や「登録情報活用システム(RIUS)」の内容充実と利用拡大を図った。
- 3) SNP検査実施農家に対して、直近のゲノミック評価値を掲載した牛群遺伝情報の提供に加えて、令和3年8月からはウェブ上でハプロタイプ推定結果を表示開始した。

(2) 調査及び研究事項

- 1) 日本中央競馬会の畜産振興事業で実施している「乳用牛生産性長命連産性の遺伝改良研究事業」では、令和3年5月12日に推進委員会をウェブで開催し、前年度に収集した疾病データのとりまとめと各疾病の出現割合や遺伝率等の分析結果を報告し、生産性や長命連産性に関係した耐病性のゲノミック評価法の開発について協議した。また、5道県の農業共済組合並びに酪農家の協力を得て疾病データを収集し、遺伝的解析の作業を進めた。
- 2) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、後代検定事業に必要な初産検定牛(後代検定材料娘牛及び同期牛)の体型データを収集して、同協議会に提供するとともに体型調査農家に対して情報還元を行った。
- 3) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、(独)家畜改良センターが行う泌乳能力及び体型の遺伝評価に必要な血縁ファイルを作成し、同協議会に提供した。
- 4) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、ホルスタインの改良に必要な雄牛並びに雌牛選定のためのSNP検査を実施した。
- 5) 乳用牛群検定全国協議会から委託を受け、搾乳ロボットに関連した体型形質等のデータ収集を行い、搾乳ロボット適合性指数等の開発作業を進めた。
- 6) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用牛能力向上強化事業」に必要なSNPデータによる血縁矛盾調査並びにゲノミック評価手法の開発・検証を行った。
- 7) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用種雄牛後代検定事業」に必要な候補種雄牛に係る近交回避資料と父母牛の能力調書を作成して、同事業団に提供した。

(3) 家畜改良関係5団体で構成する「乳用牛改良推進協議会」に参加して、今後のわが国乳用牛改良の円滑な推進に必要な調査や技術開発、普及啓発等について協議した。牛群検定農家への遺伝情報還元の実現等を図る中で、2021-8月評価から暑熱耐性の評価値公表、2022-2月評価から新NTPの公表を実現した。

(4) 世界ホルスタイン・フリージアン連盟(WHFF)の評議員会が令和3年4月15日、6月29日、10月20日、4年2月16日の4回、ウェブで開催され、2020年度会計及び活動報告、会員の加入脱退、2024年の英国での世界会議開催引受け等について協議した。

3. 登録、審査に関する研修会、講習会及び共進会の開催

(1) 登録委員研修会の開催

例年はブロック単位で現地開催している登録委員研修会について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症まん延のため開催を中止したが、3年度は8月26日及び31日に全都府県の登録委員並びに支部・承認団体担当者を対象にして、ウェブにより研修会を開催した。参加者数は延べ約170名で、研修会では登録の意義と必要性、正しい登録を行うための注意点等について説明し、質疑応答を行った。

(2) 支部・承認団体登録事務担当者会議等の開催

支部・承認団体への事務連絡の周知、登録事業の円滑な遂行と連携を図るため、令和3年10月6日と4年2月10日にそれぞれウェブにより登録事務担当者会議を開催した。また、令和3年4月23日に地方ターミナルシステム研修会、11月11日に登録事務取扱者研修会をそれぞれウェブにより開催した。

(3) 第16回全日本ホルスタイン共進会開催の検討

コロナ禍等の影響を受けて、開催決定が遅れている次回の第16回全日本ホルスタイン共進会に関しては、役員等で構成する「全共企画委員会」を設置し、令和3年5月25日に第1回、12月21日に第2回、4年3月15日に第3回の検討会を開催して、今後の全共の在り方や第16回全共の開催場所・時期、出品規則骨子案等について協議した。

4. 機関誌の発行及び図書等の出版

(1) 機関誌の発行

機関誌「全酪新報・日本ホル協特集号」を令和3年7月20日、9月20日、4年1月20日、3月20日に発行し、会員及び登録委員ほか関係者に送付した。

(2) 登録委員だよりの発行

登録取扱事務等の連絡徹底と乳牛改良等の現場に必要な情報を提供するため、「登録委員だより」を作成し、支部・承認団体を通じて登録委員に配付した。

(3) ホルスタイン手帳の作製配付

2022年版「ホルスタイン手帳」を作製し、登録委員ほか関係者に配付したほか、希望者に頒布した。

5. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 支部・承認団体の表彰

登録推進対策の一環として、会員拡大推進、自動登録普及推進、血統登録普及推進、審査普及推進の各表彰要領に基づき、対象となる支部・承認団体6部門計延べ45団体を表彰した。

(2) 登録委員の表彰

登録委員に対する表彰要領に基づき、登録の普及推進と正確性の向上に貢献したと認められた登録委員26府県60名を表彰した。

(3) 審査成績優秀牛群の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、審査成績優秀牛群表彰要領に基づき、審査成績優秀牛群30戸を表彰した。

(4) 検定成績優秀牛群並びに優秀牛の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、検定成績優秀牛群並びに優秀牛表彰要領に基づき検定成績優秀な10牛群並びに優秀牛4部門32頭を表彰した。

(5) 支部・承認団体に対する助成

支部・承認団体に対して、登録普及に関する助成要項に基づき登録取扱委託手数料、抜取調査委託手数料、登録講習会補助金等を交付した。

(6) 地区共進会への選賞

各地区共進会やB & Wショーに対して、共進会出品優良牛選賞規程に基づき選賞を行った。

(7) ジャージー種牛の登録等事務の受託

日本ジャージー登録協会の委託を受けて、ジャージー種の登録事業を行うとともに、全国ジャージー酪農振興協議会の事務局業務を受託して行った。令和3年

度の主な登録申込頭数・件数は次のとおり。

種 別	都府県		北海道		合計	
血統登録（雌）	772	頭	891	頭	1,663	頭
〃（雄）	0	頭	1	頭	1	頭
移動証明	8	件	5	件	13	件
審査成績証明						
牛群審査	97	頭	16	頭	113	頭
個体審査	9	頭	31	頭	40	頭
検定成績証明						
牛群一括	0	件	269	件	269	件
個体検定	0	件	5	件	5	件
再交付・更正・書換	11	件	5	件	16	件
E T事務取扱	16	件	13	件	29	件
遺伝子型調査	28	件	0	件	28	件

（８）全国ホルスタイン改良協議会の事務受託

全国ホルスタイン改良協議会の事務局業務を受託して行った。

（９）日本ホルスタイン会館の運営

日本ホルスタイン会館の財産価値の維持と有効活用に支障が生じないように、会館の運営に必要な管理・整備に努めた。また、令和３年９月２６、２７日に本局事務室を会館１階に移転した。

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。